

「地域のつどい」が開催されました

(第 18 期 5 回目 神北地区)

開催日：平成 28 年 2 月 7 日 (日)

場 所：六角橋地域ケアプラザ

参加者：47 名



第 18 期神奈川区民協議会第 5 回目の「地域のつどい」が神北地区で行われました。

神北地区は、東側に主要地方道である横浜上麻生道路が通り、また、東側から南側にかけて東急東横線が走っている地域で、神奈川区のほぼ中央に位置しています。神奈川区の中でも古くから栄えた商店街地域と、古い町並みが山坂の多い地帯に開けた住宅街地域とに分かれ、10 の自治会町内会で構成されています。神奈川区の重点対策地区、いわゆる木密地区として指定されている地域で、防災・減災に対する住民意識は高く、日頃から地域一丸となった活動を積極的に推進されているところです。また、近隣にある神奈川大学の学生が居住している单身アパートも多くあり、それらの方々と地域とのコミュニケーション作りにもいろいろとご苦労されているようです。

当日出席の皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。

- ①地域防災拠点に通学している学校と違う所がある
- ②備蓄は自らの町会でやるべき、自助の努力で
- ③行政の備蓄量がオープンにされていない
- ④町会役員のなり手がいない、公務員がもっと出てくるべきでは、学生の活用も
- ⑤行政が持っている地域情報の提供がない、もっと教えてもらいたい
- ⑥捜真学院敷地内に昔の公道あり、付け替えを交渉中
- ⑦高齢の夫婦世帯へのケアが必要では、制度化してほしい
- ⑧高齢者への情報伝達をもっと分かり易くしてやるべきでは
- ⑨役所に苦情・意見等の相談窓口を作ってほしい
- ⑩役所での時間外での対応ができていない、緊急で助けを求める人もいる、土日休日深夜の対応を！ できないのであれば委託も考えるべきでは
- ⑪栗田谷交番が無くなるとの話あり、無くさないでほしい

など、たくさんのご意見をいただきました。



日曜日のお忙しい中での開催にもかかわらず、ご参加いただきました神北地区の皆さま、ありがとうございました。